

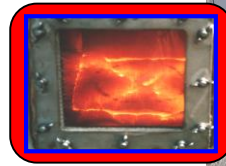
溶融による土壌および廃棄物の無害化 ジオメルト工法



100 t バッチ処理設備



溶融状況



1 t バッチ処理設備（和歌山県橋本市において使用）

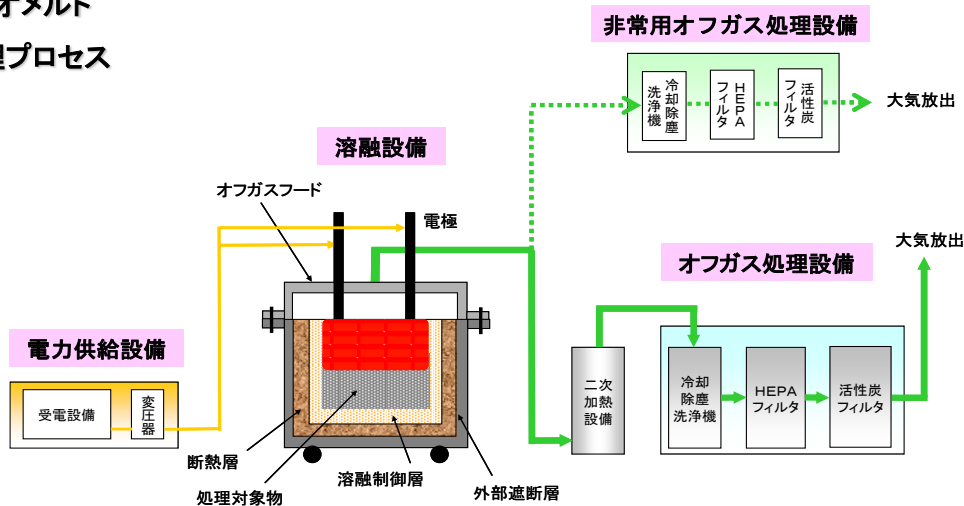
原理

土壌中に挿入した電極間に通電し、ジュール熱で汚染土壌を溶融（1600℃以上）することにより土壌中の汚染物質を分解無害化または安定したガラス固化体中に封じ込める技術です。

特徴

- ◆有機・無機の難分解汚染物質が混在する複合汚染にも対応可能
- ◆可搬式設備であり、汚染土壌の現地処理も可能
- ◆処理後に生成するガラス固化体は、無害かつ安定であり、再利用可能

ジオメルト 処理プロセス



オフサイト ジオメルト処理施設



三重中央開発㈱ 三重リサイクルセンター内の処理設備

※ジオメルト技術は、米国エネルギー省が開発した技術であり、現在、米国KURION社がライセンスを保有し、日本国内においては、株式会社アイエスビー・ジャパンが同社からライセンスを取得しています。

2021
150

おかげさまで、私たち鴻池組は
2021年で創業150周年

まじめに、まっすぐ
KONOIKE

(株)鴻池組 環境エンジニアリング本部
大阪 TEL 06-6245-6589
東京 TEL 03-5201-7920
<https://www.konoike.co.jp/request/index.php>